

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 5 部門第 1 区分  
【発行日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【公開番号】特開 2004-190557 (P2004-190557A)  
【公開日】平成 16 年 7 月 8 日 (2004.7.8)  
【年通号数】公開・登録公報 2004-026  
【出願番号】特願 2002-358832 (P2002-358832)  
【国際特許分類第 7 版】

F 0 4 D 29/46

【F I】

F 0 4 D 29/46 D

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 11 日 (2004.8.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

周方向に複数枚配置され向きが可変のインレットガイドベーンを有する遠心圧縮機において、前記インレットガイドベーンを保持する外筒の内径をインレットガイドベーン部でその他の部分よりも大径にし、このインレットガイドベーンの内径側に配置される内筒の径をインレットガイドベーン部でその他の部分よりも大径にし、インレットガイドベーン部における流路の軸直角断面積を羽根車の吸込部端における流路の軸直角断面積よりも大きくしたことを特徴とする遠心圧縮機。

【請求項 2】

前記インレットガイドベーンの向きを変える手段を設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の遠心圧縮機。

【請求項 3】

前記遠心圧縮機に吸い込まれる作動気体の圧力が、1 MPa 以上であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の遠心圧縮機。

【請求項 4】

前記インレットガイドベーンの内径側であって各インレットガイドベーンに対応した位置にインレットガイドベーンに嵌合可能な分割ベーンを設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の遠心圧縮機。

【請求項 5】

前記外筒はインレットガイドベーンを回動可能に保持し、前記内筒は前記分割ベーンを回動可能に保持することを特徴とする請求項 4 に記載の遠心圧縮機。

【請求項 6】

前記内筒に、一端が内筒に保持されたばねと、このばねの他端が接続されたピストンと、このピストンに取付けられたラックと、ラックに噛み合うピニオンと、ピストンを周動可能に保持するスリーブとを収納し、前記ピストンの両端部側に作動気体を導く穴を内筒に形成したことを特徴とする請求項 5 に記載の遠心圧縮機。

【請求項 7】

前記分割ベーンは、圧縮機の起動時にはインレットガイドベーンと異なる角度位置に設定されることを特徴とする請求項 6 に記載の遠心圧縮機。